

コース名		科目名			対象学年		
個体の反応 病因と病態		病因と病態			2		
開講学期		科目責任者		副責任者			
2 学期		森谷 卓也					
目的							
様々な疾患の原因（病因）と病態の基本を総論的に理解し、説明できるようにする。基礎医学から臨床医学への掛け橋となる科目である。							
授業到達目標							
<ol style="list-style-type: none"> 1. 代表的な遺伝性疾患を列挙し疾患の相違点を説明できる。 2. 染色体異常による疾患の中で主なものを挙げ概説できる。 3. 個体の発達異常による疾患の中で主なものを挙げ概説できる。 4. 細胞傷害、変性、細胞死の形態学的変化の特徴を説明できる。 5. 代表的な代謝異常の病態を説明できる。 6. 循環障害（虚血、充血、うっ血、血行静止、出血、血栓症、塞栓症、梗塞）の病因と病態を説明できる。 7. 止血の機構を説明できる。 8. 炎症の定義、原因、分類、形態学的変化を説明できる。 9. 創傷治癒の過程を概説できる。 10. アレルギー発症の機序を概説できる。 11. 先天性免疫不全症と後天性免疫不全症を概説できる。 12. 代表的なウイルス・細菌、寄生虫感染の病態と組織学的特徴を説明できる。 13. 腫瘍の定義、良性腫瘍と悪性腫瘍の違い、上皮性腫瘍と非上皮性腫瘍の違いを形態学的に説明できる。 14. 腫瘍の増殖、浸潤、転移を説明できる。 15. 腫瘍発生における遺伝的要因と外的因子を概説できる。 							
授業計画							
回数	月日	曜日	時限	区分	担当者	所属	授業内容
1	9/10	火	1	講義	森谷	病理	病理学入門：歴史、体系、学習方法
2	9/10	火	2	講義	森谷	病理	循環障害①：虚血、充血、うっ血、血行静止
3	9/10	火	3	講義	森谷	病理	循環障害②：出血、止血
4	9/11	水	4	講義	秋山隆	病理	細胞傷害と細胞増殖①：細胞傷害、細胞死（壊死）
5	9/11	水	5	講義	秋山隆	病理	細胞傷害と細胞増殖②：細胞死（アポトーシス）、細胞傷害
6	9/11	水	6	講義	秋山隆	病理	細胞傷害と細胞増殖③：変性、適応（肥大、萎縮、過形成、化生）
7	9/13	金	4	講義	塩見	病理	炎症と創傷治癒①：定義、分類、炎症細胞の種類
8	9/13	金	5	講義	塩見	病理	炎症と創傷治癒②：急性、慢性炎症の成り立ちと継時的変化
9	9/13	金	6	講義	塩見	病理	炎症と創傷治癒③：感染症による炎症性変化
10	9/17	火	4	講義	西村広	病理	免疫機構の異常①：アレルギー、自己免疫疾患
11	9/17	火	5	講義	森谷	病理	循環障害③：血栓・塞栓・梗塞
12	9/17	火	6	講義	森谷	病理	循環障害④：心不全・ショック・高血圧・低血圧
13	9/26	木	4	講義	塩見	病理	炎症と創傷治癒④：創傷治癒の過程・再生
14	9/26	木	5	実習	森谷	病理	実習のオリエンテーション、実習 I-①（循環障害）：血栓
15	9/26	木	6	実習	森谷	病理	実習 I-②（循環障害）：梗塞
16	9/30	月	1	講義	森谷	病理	腫瘍①：腫瘍の定義・原因
17	9/30	月	2	講義	西村広	病理	免疫機構の異常②：自己免疫疾患、免疫不全症候群
18	9/30	月	3	講義	西村広	病理	遺伝子異常と疾患・発生発達異常①：胚細胞と体細胞遺伝子異常、メンデル遺伝の様式と代表疾患、多因子遺伝

19	10/ 2	水	4	実習	西村広	病理	実習 II-① (免疫異常): 橋本病, 鼻茸
20	10/ 2	水	5	実習	西村広	病理	実習 II-② (免疫異常): 関節リウマチ, 好酸球性胃腸炎
21	10/ 8	火	4	講義	秋山隆	病理	代謝異常①: 物質沈着, 黄疸
22	10/ 8	火	5	講義	秋山隆	病理	代謝異常②: 蛋白質, 脂質の代謝障害
23	10/ 8	火	6	講義	秋山隆	病理	代謝異常③: 糖, 核酸, 無機物質の代謝障害
24	10/10	木	4	実習	塩見	病理	実習 III-① (炎症と創傷治癒): 気管支肺炎
25	10/10	木	5	実習	塩見	病理	実習 III-② (炎症と創傷治癒): 胃潰瘍
26	10/10	木	6	実習	塩見	病理	実習 III-③ (炎症と創傷治癒): 結核
27	10/16	水	1	講義	西村広	病理	遺伝子異常と疾患・発生発達異常②: 染色体異常, 発達異常による遺伝子因子と環境因子, ミトコンドリア遺伝子変異
28	10/16	水	2	講義	森谷	病理	腫瘍②: 良性腫瘍と悪性腫瘍
29	10/16	水	3	講義	森谷	病理	腫瘍③: 腫瘍の組織型
30	10/22	火	1	講義	森谷	病理	腫瘍④: 腫瘍の悪性度
31	10/22	火	2	講義	森谷	病理	腫瘍⑤: 腫瘍の発生と進展
32	10/22	火	3	講義	森谷	病理	感染症①: 感染症の成立と進展
33	10/23	水	4	実習	秋山隆	病理	実習 IV-① (細胞障害, 代謝異常): アポトーシス
34	10/23	水	5	実習	秋山隆	病理	実習 IV-② (細胞障害, 代謝異常): 肥大と萎縮
35	10/23	水	6	実習	秋山隆	病理	実習 IV-③ (細胞障害, 代謝異常): 脂肪肝, アミロイドーシス
36	10/24	木	4	実習	森谷	病理	実習 V-① (腫瘍): 上皮性腫瘍 (良性・悪性)
37	10/24	木	5	実習	森谷	病理	実習 V-② (腫瘍): 非上皮性腫瘍 (良性・悪性)
38	10/24	木	6	実習	森谷	病理	実習 V-③ (腫瘍): 前癌病変
39	10/29	火	2	実習	森谷	病理	実 VI-① (感染症): 感染を受けた組織や細胞の形態変化: 真菌症
40	10/29	火	3	実習	森谷	病理	実習 VI-② (感染症): 感染を受けた組織や細胞の形態変化: ウイルス感染症, 赤痢アメーバ
41	10/30	水	2	講義	森谷	病理	感染症②: 感染症に対する生体の反応
42	10/30	水	3	講義	森谷	病理	病理診断・細胞診・病理解剖、全体のまとめ
	11/ 5	火	2	講義末試験			講義末試験

評価方法

[講義末試験] 70% (授業内容および実習内容の理解を記述式試験により確認する。)

[実習点] 20% (バーチャルスライド標本のスケッチおよび実習態度を評価する。)

[出席状況 (受講態度)] 10% (出席状況・受講態度を評価に反映する。)

[評価方法] 論述・記述試験、出席・受講態度評価、論文・レポート、実習態度評価、観察記録

[備考] 記述試験は講義と実習それぞれについて、いずれも講義末試験期間内に行う。各問題の配点は、講義時間数に比例する。

課題 (試験やレポート等) に対するフィードバックについて

実習スケッチは内容をチェックし、採点した後、返却する。

教科書

ISBN-9784524249343, シンプル病理学, 笹野公伸, 岡田保典, 安井弥編集, 南江堂, 2020

講義内容、および実習教材は pdf として配布する。

参考書

ISBN-9784830604744, 病理組織マップ&ガイド, (編集) 深山正久, 文光堂, 2014/04/14
ISBN-9784260050425, 標準病理学, 仁木利郎, 小田義直編集 ; 仁木利郎 [ほか] 執筆, 医学書院, 2023

準備学習 (予習・復習等)

予習・復習には、それぞれ1時間程度を要する。
予習：講義の前に、該当部の教科書を読み予習しておく。
復習：講義中に配布されたプリントや教科書を参考に、十分に復習する。
実習：マルチメディア教室 (M-710) で行う。実習には、病理実習レポート用紙 (2023年度版), 色鉛筆を必ず持参する。実習の前には、病理実習 pdf の該当標本のところを見ておき、必要に応じて印刷したものを持参する。

講義についての注意事項

講義には教科書を持参する。実習レポート (スケッチ) の提出は必須である。実習レポートは大きく正確に書き、説明を入れる。実習レポート用紙は3学年以降も2学年時のものを使用する。また、レポートは学籍番号・氏名とともに、必ず実習指導教員名を記入し、左上をホチキス留めして提出する。

昨年度からの変更点・改善項目

一部の担当教員を入れ替えた。授業内容を一部変更した。

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連について

この科目は、主としてコンピテンスの医学と関連領域の知識の達成に向けて設定されている。基礎医学の知識を統合的に集約し、疾病の病因と病態について理解する学問であり、臨床医学への入門となる。病理学的な考え方を身につけることは、医学研究を遂行するための基盤となる。主として1学年の、人体の構造と機能 I コースの各科目における知識と理解のもとに授業が行われ、主として3・4学年の臨床医学コースの各科目や「臨床実習 IV・V・VI」の学修につながる。

ナンバリング

BPEP219